



堺市立総合医療センターと市民の健康をつなぐ広報誌

ぞうさん広場

vol.
31

特集

力を合わせてがんと闘う

がんセンター



地方独立行政法人 堺市立病院機構

堺市立総合医療センター

SAKAI CITY MEDICAL CENTER



力を合わせて
がんと闘う

がんセンター

がんセンターの設置で 切れ目のないサポートを

日本のがん対策は、がん対策基本法に基づき「がん対策推進基本計画」により推進されており、当院も国や大阪府の方針に沿ってがん診療の体制を整えてきました。2014年には厚生労働省により「地域がん診療連携拠点病院」として指定され、手術、がん薬物療法、放射線治療などを合わせた集学的治療を行い、地域のがん診療における中心的な役割を果たしてきました。そして本年、患者さん一人一人がより安心してがん治療を受けられるように「がんセンター」の組織を再編しました。「がんセンター」は「化学療法センター」「放射線治療センター」「がん相談支援センター」「緩和ケアセンター」「がんゲノムセンター」の5つのセンターから構成されており、それぞれが密に連携することで、治療だけでなく社会的・精神的な支援も含めたサポートを、これまでよりも切れ目なく提供できるようになりました。

がん患者さんのお悩みを チーム一丸で解消

がんと診断された時、患者さんは治療に対する不安はもちろん、家族や仕事、お金のことなど様々な不安を感じるかもしれません。そうしたお悩みは医師のみで解消することは難しいですが、当院のがんセンターは医師や看護師だけでなく、薬剤師や公認心理師、ソーシャルワーカーなどの職種で構成されており、あらゆる問題に対応できるよう密に連携しています。そのため、患者さんのお悩みに合わせて柔軟にサポートすることが可能です。どのようなお悩みでも遠慮なくご相談いただければと思います。



相談は面談や電話、オンラインでお受けしています。

多職種のスタッフが協力し 手厚いがん診療を提供

がんセンター長
医師
池田 直樹
いけだ なおき

現在のがん治療の考え方

3つの治療法から 適切な治療を選択

がんの代表的な治療は手術、がん薬物療法、放射線治療の3つがあり、がんの種類や進行度によって、いずれか一つの治療を行うこともあれば、2つ以上の治療法を組み合わせることもあります。治療をめざせる手術はがんの進行が早期で、かつがんを残さず切り取れると予想された場合にのみ適用となりますが、近年がん細胞の増殖に関わる特定の分子を狙い撃ちする分子標的薬や、がん細胞を攻撃する免疫システムの力を利用するがん免疫療法が登場したことで、薬で腫瘍を小さくしてから手術を行い、完全切除をめざすといった選択肢も取れるようになってきました。



がんは早期発見が大事 がん検診のご活用を

近年、がんの治療は大きく進歩し、治療できるケースも増えてきました。がんが命に関わる病気であり、誰もが罹患する可能性があることは変わりません。だからこそ、自分らしく長く生きるためには、がんを早期に見ることが大切になってきます。しかし、堺市のがん検診の受診率は全国的に見て低水準であり、改善が必要な状態です。堺市では、いくつかの検診を無料もしくは低額で受けることができるため、ぜひご検討ください。当院のがんセンターには予防検診部門があり、肺がん検診と大腸がん検診、前立腺がん検診を事前予約不要で受けていただくことができます。また、胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診はインターネットや電話で予約いただくことで受診が可能です。もし検診でがんが発見された場合には、がんセンターのスタッフが一丸となって適切な治療法を検討しますので、怖がらずに受診いただければと思います。また、がん相談支援センターではがんに関する相談を無料で行っていますので、ぜひご活用ください。

精密な手術を可能にするロボット支援手術

3D画像を見ながら 高精度な手術操作が可能

現在のがん手術では、手術支援ロボットを用いるケースが増えてきています。この手術のメリットは、精細な3D立体視野を見ながら屈曲する鉗子(かんし)を操作することで、精密かつ安全な手術が行えることです。この手術は患者さんの体に小さな穴を開けて施術するため傷口が小さくすみ、開胸手術や開腹手術に比べて術後の回復が早くなります。当院は手術支援ロボットを2台導入しており、呼吸器外科や消化器外科などで運用しています。特に呼吸器外科では導入から現在までで550例を超える実績を残しました。



ロボット支援手術は、サージャンコンソールに術者が着席し、コンソール内の高精度3Dモニターで体の中を見ながら、左右のハンドコントロールと7つのペダルで鉗子と内視鏡を操作して手術を行います。

役割と取り組み

がんの治療方法は複数あり、治療だけではなく様々なサポートを行うことも大切です。そのためがんセンターは5つの部門に分かれています。それぞれの役割をご紹介します。

化学療法センター

化学療法に対する
専門性の高いスタッフが
患者さんをフルサポート

センター長
医師
岡本紀雄
おかもと のりお



食事や副作用の悩みなど
細やかな対応が可能

化学療法センターでは、外来通院や入院中の化学療法に関する業務を総合的に行っており、化学療法に対して専門の知識を有するスタッフが勤務しています。例えば栄養士であれば、がん病態栄養専門管理栄養士の資格を有する者が勤務しており、薬を使用したことで食事が取りづらくなった方に対して、どんな食べ物なら食べやすいかなどをお伝えすることができま

充実した環境で 化学療法を提供

外来化学療法室にはリクライニングチェア16床、ベッド7床、専用診察室5室、相談室1室、併設の薬剤調製室があり、年間約8,000件以上の化学療法を行っています。



放射線治療センター

医師や医学物理士
放射線治療技師が協力し
放射線治療を実施



ホットラインを開設し
患者さんの裾野を広げる

放射線治療センターは、放射線治療に関する業務を多職種のチームで行っており、医師や放射線技師はもちろんのこと、放射線治療機器について専門的な知識を有する医学物理士も常駐しています。また、当センターでは「放射線治療ホットライン」を開設しており、地域の医師や看護師の皆様からのご相談に対し、放射線治療医が直接回答を行っています。放射線治療の適応があるか判断がつかない時など、積極的にご利用いただけます。そのほか当センターでは日帰り単回での緩和的放射線治療も行っていますので、お気軽にご相談ください。

副作用低減を目指した 放射線治療

当センターには「True Beam」という放射線治療装置があり、正常な臓器への照射を低く抑えつつ、病巣に集中して放射線を当てる治療を行うことができます。





部門別に徹底解説!

がんセンターの

がん相談 支援センター



がん患者さんや
そのご家族の
お悩みに寄り添います

誰もが無料で利用できる
がんに関するすべての相談窓口

がん相談支援センターは、全国のがん診療連携拠点病院などに設置されているがんに関する相談窓口です。当院で治療中の患者さんだけでなく、どなたでも無料でご利用いただけます。「自分のがんやその治療についてもっと詳しく知りたい」「仕事を続けながら治療する方法を探したい」「がん治療にかかるお金のことが心配」といったお悩みに対して、看護師やソーシャルワーカーなどのがん専門相談員が、面談や電話などで相談に応じます。匿名での相談も可能ですので、がんについて困ったことがあればお気軽にお尋ねください。

緩和ケアセンター



がんと診断された
患者さんやそのご家族の
身体や心のつらさを和らげます

がんによる様々なつらさを
緩和するための幅広い活動

当院の緩和ケアセンターは「緩和ケアチーム」「緩和ケア外来」「緊急緩和ケア病床」などの緩和ケアに関する業務を総合的に行っています。「緩和ケアチーム」は多職種で構成されていて、がん患者さんやそのご家族の身体や心のつらさを少しでも軽減できるように様々な活動を行っています。「緩和ケア外来」は、緩和ケア科の医師が診察を行っており、他の医療機関で治療を受けている方でも受診が可能です。「緊急緩和ケア病床」は、症状緩和や介護者の休息が必要な場合などに、一時的に入院でき、過ごしたい場所で自分らしい生活を送ることができるよう一緒に考えていく場所でもあります。

がんゲノム センター



がんゲノム医療連携病院として
がん遺伝子パネル検査や
遺伝カウンセリングに対応

がん遺伝子パネル検査で
効果的な治療を選択

当院は厚生労働省より「がんゲノム医療連携病院」に認定されており、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師などの多職種で、がんゲノム医療に関する業務を行っています。がんとは、遺伝子の病的な変異によって起こる疾患であり、この変異は患者さんごとに異なります。当院ではがんに関連した多数の遺伝子を一度に調べ、その結果を利用して適切な治療法を模索する「がん遺伝子パネル検査」を受けることができます。これまでの研究から治療につながる割合は10%程度とされていますが、一人一人に合った治療につながる検査です。

がんセンター看護師対談

「がん患者・家族の支援」

各センターの役割や
相談できる内容について**高林** がん相談支援センターでがん専門相

談員として、患者さんご本人だけでなく、ご家族や地域の方などががんに関するお悩みを持った方に幅広く対応しています。病気に関する情報の提供はもちろん、患者さんがご自身でがんについて調べたいという場合に、正しい情報を得られるホームページなどをお教えします。また、がん患者さんで「今後生活する上でお金のことが心配」というご質問があれば、どういった支援制度が利用できるかお伝えするなど、様々なご相談に応じています。

好井 私はがんゲノムセンターで認定遺伝カ

ウンセラ[®]として働いています。がんは遺伝子の病的な変化によって起こる疾患ですので、「がん遺伝子パネル検査」で遺伝子を調べることで、効果的な治療に結び付くことがあります。



がん患者さんやご家族が同じ立場で心の悩みや体験などを語り合うことができる患者・家族サロン「なないろ」を設置しています。

また検査結果で、生まれながらの遺伝子の変化（遺伝性のがん）の可能性が見つかる場合があります。その際に正しい情報を患者さんやご家族にお伝えし、遺伝子の変化を調べる検査を受けるかなど意思決定をサポートします。

河田 私は緩和ケアセンターでがん性疼痛

看護認定看護師として、患者さんの身体や心のつらさに対してケアを行っています。患者さんの「痛い」という言葉を聞くと身体的な痛みを連想しますが、その背景に心の痛みが隠れていることもあります。患者さんの全体像を見ることを心がけ、あらゆる苦痛を緩和できるように努めています。

がんと診断された方はご本人はもちろんのこと、ご家族にも様々なお悩みが発生することと思います。がんセンターでは、専門的な知識をもった相談員が幅広いご相談に応じます。



「心の痛み」の
緩和も心がけています

がん性疼痛看護認定看護師

かわた なおこ
河田 尚子

多職種が連携して
サポートします

遺伝カウンセリングも
お任せください

認定遺伝カウンセラー[®]/看護師よしい りよ
好井 理世

がん専門相談員/看護師

たかばやし としこ
高林 登志子

がんセンターQ&A

Q 緩和ケアの相談は、
入院患者さんだけが対象ですか？

A 外来患者さんも対象です。
がん相談支援センターにご相談いただければ、緩和ケアセンターのメンバーがお話を伺います。

Q 遺伝カウンセリングに興味があるのですが、
どうしたら受けられますか？

A 当院では遺伝性腫瘍外来にて遺伝専門医や認定遺伝カウンセラー[®]による遺伝カウンセリングを実施しております。遺伝カウンセリングをご希望の場合は、当院の担当医やがん相談支援センターにご相談ください。

がん患者さんやご家族の方に 知っていただきたいこと

河田 がん患者さんにとって、自分がこれからどういう治療を受けたいかを考えておくことは非常に重要です。

当院では「わたしのノート」という冊子をお渡ししており、「副作用があっても効果の高い治療を続けたい」「や」「苦痛を和らげ自分らしさを保ちたい」などの希望や、病気が悪化したときに何を大事にして、どこでどのように過ごしたいかななどの希望が書けるようにしています。外来や病棟に配架しており、どなたでも手に取ることができます。ご家族や希望された方にもお渡ししております。



今後の治療や療養についての思いを記すことができる「わたしのノート」。もしものときに備えて考えを整理していただき、ご家族や医療スタッフと会話しやすくするためのツールとしてお渡ししています。

ですので、ご家族や医療スタッフとの意思共有のためにもぜひご活用いただければと思います。

高林 「わたしのノート」は緩和ケアスタッフ

だけでなく、がん相談員や病棟の看護師からもお渡しできます。治療が進むにつれて、治療費のことや治療の副作用に関すること、セカンドオピニオンの希望などお悩みが増えにくると思います。がん相談支援センターでは、がんに関するあらゆるご相談に対応しますので、お気軽にお問い合わせください。また、がん患者さん同士の交流会も定期的に開催しています。

好井 がんゲノム医療については近年発展

したばかりの分野であり、知ってもらえる機会となるよう勉強会の開催を企画しています。担当医やがん相談支援センターを通じていつでもご相談いただければと思います。

内容にかかわらず お気軽にご相談ください

河田 緩和ケアは患者さんご本人だけ

でなく、ご家族の方も対象になっています。患者さんと過ごす中で

気持ちのつらさや身体の症状が出る方もいらっしゃるので、抱え込む前にご相談いただければと思います。

好井 私は遺伝医療を専門としていま

すが、看護師として幅広くお悩みごとに対して患者さんやご家族をサポートできればと思います。

高林 がんセンターは5つのセンターに

分かれています。頻繁にミーティングを行い情報を共有しています。看護師に限らずスタッフの誰かにお伝えいただければ連携できる体制をとっていますので、お気軽にお話しください。



こんな時も大丈夫!

Q セカンドオピニオンを受けたいのですが、主治医に失礼にならないでしょうか?

A がんの治療を受ける場合、患者さんが納得した上で治療方針を決めることが大切です。「第2の意見」を得ることは治療を決定する際に重要な役割を果たします。気兼ねなくご相談いただければと思います。

Q 他のがん患者さんのお話を聞いてみたいのですが、何か方法はありますか?

A 当院で治療を受けられた方を対象に、患者さん同士が支え合える場として「ブランコの会」を設立しました。2か月毎に交流会やがんについての勉強会を行っており、がん相談支援センターでご入会の案内をしています。

堺市立総合医療センター

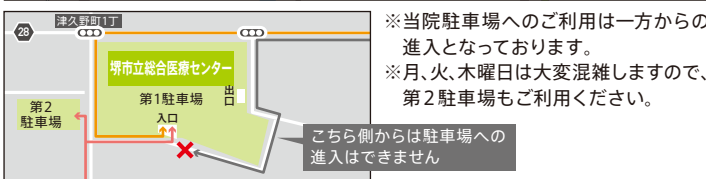
がんセンター特設サイト公開中!

がんセンターの組織再編に伴い、
特設サイトを開設しました。
当センターの部門紹介や、サポート体制、
がん医療についての情報などを
掲載していますので、ぜひご覧ください。

がんセンターの詳細は
こちらのQRコードから



Access 交通のご案内



堺区・南区方面に送迎バスを運行中!

堺区ルート 19本/日 南区ルート 8本/日

無料
※平日のみ

●運行ルート・時刻表につきましては、ホームページでご確認ください。

バスでお越しの方

中もず駅前、石津川駅前、深井駅、泉ヶ丘駅、
若竹大橋、梅・美木多駅、堺東駅前
上記の南海バス停留所から、堺市立総合医療センター行き
のバスをご利用ください

電車でお越しの方

JR阪和線津久野駅 徒歩約5分

車でお越しの方

阪和自動車道「堺IC」より10分
阪神高速道路15号堺線「堺出口」高架道を出口まで進み
国道26号線より15分

駐車場料金のご案内

一般ご利用者(お見舞い等)	当日受診された方	手術付き添いの 患者さんのご家族等
最初の1時間 200円	5時間まで 200円	24時間まで 200円
最初の30分以内に駐車の場合は無料。以降30分毎に100円		当日受診された 障害者手帳をお持ちの方 無料



地方独立行政法人 堺市立病院機構

堺市立総合医療センター

SAKAI CITY MEDICAL CENTER

〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号

TEL.072-272-1199

<https://www.sakai-city-hospital.jp/>